



＜総領事館ニュース＞

★平成29年度国費留学生に対する訪日前オリエンテーション・壮行会の実施

9月19日（火）、総領事公邸において、9・10月より日本での留学を開始する予定の平成29年度国費外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生、教員研修留学生、大学推薦枠等）及び JICA 長期研修生に対する渡日前オリエンテーション・壮行会を実施し、スラバヤやマランを中心とした東ジャワ州選抜の計28名が参加しました。冒頭、谷総領事より、「インドネシアからの国費留学生の多くが東ジャワ州から選出されていることを嬉しく思う。日本で大いに学び、今後両国の架け橋として活躍いただきたい。」旨挨拶した後、各留学生から自己紹介が行われ、続いて元日本留学生協会（プルサダ）東ジャワ支部会員のマレタニンティヤス女史（アイルランガ大学歯学部講師、広島大学出身）、カリナ・エルダ女史（同）より日本での生活事情、留学生としての心構え等についての体験談の共有が行われました。各参加者は渡日前に多くの疑問点が解決され、参加者同士の親睦も深まり大変満足した様子でした。



プルサダ会員による説明の様子



総領事を囲んだ参加者集合写真

★経済連携協定に基づく看護師・介護福祉士元候補生との懇親会の実施

10月2日（月）、総領事公邸において、日インドネシア経済連携協定（EPA）に基づく看護師・介護福祉士元候補生との懇親会を実施しました。当日は、元候補生、関係者を含めて22名が出席し、EPAに関する意見交換等を行いました。懇親会の冒頭、谷総領事より、「経済連携協定に基づく候補者の受入れは、二国間の経済活動の連携強化の観点から実施している。日本での経験を十分生かせるように帰国された方のフォローアップが重要である。」旨挨拶しました。その後、日本での経験談やEPAに関する改善点等に関しての意見交換が行われ、元候補生は同じ研修を受けた仲間との再会や意見交換に大変満足した様子でした。今後もこうした交流の場を通じて、両国の関係強化に努めて行きたいと考えております。



総領事を囲んだ参加者集合写真

★第8期日本語パートナーズ着任式の実施

10月5日(火)、国際交流基金事業“日本語パートナーズ”第8期着任式が Swiss Belinn Hotel Tunjungan にて執り行われました。今回東ジャワ州には計22名が着任し、来年3月まで東ジャワ州スラバヤ市、シドアルジョ県、グレシック県、パスルアン県、モジョケルト市、バトゥ市、マラン市の各高校に派遣されることとなりました。本事業は、ASEAN 諸国の教育機関における日本語教師のパートナーを一定期間日本から派遣し現地の日本語教育を支援すると同時に、パートナー自身も現地の言語や文化についての学びを深め、ASEAN 諸国と日本との架け橋となることを目的とする文化事業です。2014 年の事業開始以降、インドネシアには既に 400 名以上が派遣されています。今次派遣されたパートナーズの皆さんにも、日本語授業のサポートや当地における文化行事への参加等を通じ、両国の文化交流促進に大いにご活躍いただくことが期待されます。

★JASSO日本留学フェア2017の開催

10月7日(土)、スラバヤ市内スクエア・ボールルームにて学生支援機構(JASSO)主催、元日本留学生協会(プルサダ)共催、総領事館後援による日本留学フェアが開催されました。今回は日本から国立・私立大学、専門学校、及び語学学校等、計53の機関が参加し、ブース内でカリキュラムや奨学金制度等について説明が行われ、千名を超える当地高校生や大学生、保護者等が参加しました。当館からは開会式に総領事が出席し「本留学フェアは当地における日本留学に関する最大のイベント。多くの日本教育機関が参加してくださり、約9万4千名という全国2位の日本語学習者を誇る東ジャワ州を管轄する総領事館として嬉しく思う。本フェアを通じて更に多くの学生が日本に留学し、インドネシアと日本の架け橋になっていただけることを祈念している」旨挨拶しました。参加者らは各ブースを回り、各機関による説明に熱心に耳を傾けていました。



国費留学に関するセミナーの様子

★在スラバヤ日系企業リーガル・コンサルテーション窓口開催のご案内

当館では、2ヶ月に1回程度の割合で無料法律相談会を実施しています(次回は12月開催予定)。「TMI 総合法律事務所」蔵田弁護士に出席頂き、企業法務に関連した相談者からの様々な質問にお答えいただきます(1社1時間程度)。相談をご希望される方は、当館日系企業相談窓口(business-support@sb.mofa.go.jp) (平瀬副領事)までご連絡ください。